



2022年7月14日

株式会社 阿波銀行

石井自動車学校株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、石井自動車学校株式会社（代表取締役 中野 光憲、本社：徳島県名西郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	石井自動車学校株式会社
所在地	徳島県名西郡石井町石井字重松9番地2
代表者	中野 光憲
業種	その他サービス業
設立	1973年1月22日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月14日



石井自動車学校株式会社 代表取締役 中野 光憲

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。	① 教習車・送迎車のHV化推進	
			② (1)2030年度までに導入率10% (2)燃料費5%削減	
社会	社会・地域活動の情報発信の推進	地域社会の一員として、地域・社会への貢献活動を積極的に行い、地域の魅力を広く社内外にPRいたします。	① (1)会社ホームページやSNSで地域スポーツ大会の協賛、地域ボランティアの参加内容を発信 (2)教習生への満足度調査の実施（ご意見・提案ボックス）	
			② (1)年2回発信(協賛、ボランティア等) (2)教習生の卒業時に実施	
社会・経済	社内の声の把握	一体感のある経営をめざして、社員の声を積極的に収集し、改善検討を通してスパイラルアップする組織を目指します。	① (1)社内コンプライアンスやハラスメントに関する相談・通報窓口の設置 (2)社員満足度調査の実施 (3)社員提案制度、報奨制度の推進	
			② (1)2025年度までに窓口・担当者設置 (2)年2回実施 (3)年間提案数5件以上、採用数1件以上	
環境・経済	グリーン購入	環境負荷の小さい原材料の購入や3Rの推進に努めます。	① エコラベル商品の購入・使用（特に事務用品・消耗品）	
			② (1)2025年度までにエコラベル商品購入率50% (2)2025年度までにグリーン購入率70% グリーン購入品目数5件	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。